

記入例

(債務者が、人的抗弁を有することを理由として請求する場合)

特例開示請求書



西暦 2013 年 3 月 1 日

株式会社全銀電子債権ネットワーク 御中

利用契約が解除済の方が請求される場合も、当該でんさいに係る立場に応じてチェックしてください。

【請求者】

立 場	☒ 債務者 ☐ 債権者 ☐ 電子記録保証人 ☐ その他 ()									
利 用 者 番 号	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
住 所	〒199-0999 東京都中央区中央 9-9-9									
法 人 名 ・ 代 表 者 名 個 人 事 業 者 名	田佐井 太郎 印									
電 話 番 号	(0 3) (9 9 9 9) (9 9 9 9)									
決 済 口 座	支 店 名	中央支店					支店コード	5	5	5
	☒ 普通 ☐ 当座	口座番号	7	7	7	7	7	7	7	7

請求者は、次のとおり、特例開示を請求いたします。

■特例開示対象でんさい

開示請求対象のでんさいの決済口座を記入してください。

開 示 種 別	☒ 記録事項 ☐ 提供情報		※いずれかにチェックしてください																	
記 録 番 号	1	1	1	1	1	1	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	

■開示理由 (該当項目にチェックしてください)

開示理由は正確に記入してください。

☒ ①債権者または譲受人に対し人的抗弁を有しているため
(相手方の法人名・代表者名または個人事業者名: **でんさい商事 代表取締役 電債太郎**)
(相手方の利用者番号: **1 2 3 4 5 6 7 8 9**)

☐ ②なりすましによる記録請求の疑いがあるため

☐ ③訴訟等の提出資料として必要なため (ただし、上記①または②に該当する場合を除く)

☐ ④利用契約が解除済であるため

☐ ⑤その他 ()

(以下に詳細をご記入ください: 人的抗弁を有する旨の説明、なりすましと判断する説明等)

当該でんさいにかかる売買契約の対象物が、引き渡し期限を過ぎても相手方から引き渡しを受けられなかったため、売買契約を解除した。

※開示対象は、業務規程第 57 条第 1 項各号、第 59 条第 1 項に規定する情報に限られます。

金融機関使用欄							
金融機関コード		金融機関名		支店コード		支店名	
				照合/本人確認済			
				/	/	/	

《でんさいネット使用欄》

--